

いんごな生きもののが...
せいせいのせいせいのせい



エコネット 生きもの調査

in きたもと 体験会



※写真はイメージです
(当協会による別の
地区での実施例)

さんかしゃぼしゅう!
**参加者
募集!**

さとやま た もり かわ
里山の田んぼや森や川は、
さかな むし おお
魚やカエルや虫など多くの生きものすみかになっています。
い かんさつ ちいき しぜん ゆた
生きもの観察で、地域の自然の豊かさやつながりについて、楽しく学びましょう!

R7 **7月13日(日)**

午前 **9:30~12:00**

集合場所: サンアミニティ北本キャンプフィールド

【集合場所】埼玉県北本市高尾9丁目143 (048-593-0008)



プログラム(予定)

- ◎田んぼの生きもの調査体験
- ◎谷津の生きもの観察(昆虫等)
- ◎エコネット環境学習(室内)
- ◎思い出づくり(工作)

調査体験では
高尾宮岡の景観地で
生きものをとって
名前をしらべます
(野外活動です)

内容は
小学生
向けです

●申し込み前にご確認ください●

- ◎どなたでも参加可能(定員30名/先着順/無料)ですが、小学生以下は必ず保護者の方とお越してください。
- ◎小雨の場合は内容を縮小して実施します(かんたんな生きもの観察など)。荒天(大雨や暴風等)の場合は中止です。
- ◎生きものをとる道具はお貸しします。当日の持ち物などの詳細は、申し込み代表者の方へ、後日、お知らせします。

申し込み方法

要申し込み/無料/先着順(定員30名)

QRコードまたはURLよりお申し込みください⇒ <https://forms.gle/zad682XW3Y672eg16>



※アクセスできない場合、問合先まで電子メール(または電話)で、以下の必要事項をご連絡ください。

【必要事項】人数(大人・子ども)、代表者名、代表者連絡先(電話番号+あればメールアドレス)

※申し込み後、事務局から折り返し連絡をもって受付完了となります(定員に達した場合にはキャンセルの連絡をします)。申し込みから3日以上連絡がない場合、送信エラーの可能性ありますので、電話でお問い合わせください。

問合先(事務局補助係): 株式会社建設環境研究所(担当: 佐野 090-5500-3387)
電子メール: 25-1372@kensetsukankyo.co.jp / TEL: 03-3988-2632

主催: 北本市・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会



「荒川流域エコネット地域づくり推進協議会」では



人と自然が安心して暮らしていける地域づくりに向けて、

(例えば、生きもの調査や環境学習の促進など、)

地域関係者が連携して、

エコロジカル・ネットワーク形成の取り組みを進めています



荒川流域エコネット形成による

荒川やその周辺地域において
さまざまな生きものの生息環境を
守り・育み・つなげます



豊かな地域づくりを目指して

コウノトリなど多様な生物のすむ
自然豊かな環境づくりは
安心して暮らせる未来につながります



地域が連携・協力しています

荒川流域の地域関係者が
協議会において連携を図りながら
取り組みを進めています



(研究者、市民団体、県市町、国)

取り組みの実現には、「この空にコウノトリを羽ばたかせよう」と考え、行動する、多くの人の参加・協力が必要です。そこで、地域関係者が主体的に実施できること、また連携・協力することでさらなる効果が期待できることを、「荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン(令和3年3月)」にとりまとめました。現在、このプランに関連する各種の対策・検討を、地域関係者が連携・協力しながら進めています。

荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン

生物の 生息環境保全 に関するプラン



地域振興 経済活性化 に関するプラン



Q 荒川流域エリアにおける「エコロジカル・ネットワーク形成」とは…?

- 私たち人間は、河川から食料や水の供給を受けたり、森林による気候調節によって守られたりと、自然からさまざまな恵み(生態系サービス)を受けて生活しています。この日々の豊かさや安全な暮らしに欠かせない生態系サービスを支えているのが「生物多様性」です。
- 生物多様性を守るには、広く、さまざまな場所で、自然環境を保全・再生していく必要があります。これを効果的に進めていくために、いまある自然拠点をつなげる「エコロジカル・ネットワーク」の考え方が重要です。自然拠点のつながりを強くするには、拠点をむすぶだけでなく、拠点を大きくしたり、たくさんつくるのが有効で、そのためには多くの人の力が必要です。
- 荒川流域エリアの自然拠点は、河川・水路・水田・森林・公園など多種多様で、関わる人もさまざまです。そこで、自然のつながりを強くする「エコロジカル・ネットワーク形成」に向けて、エリア内の多様な地域関係者が連携・協力して取り組んでいるのです。

